

第2回八潮市庁舎建設基本構想策定審議会 議事録

開催日時	平成29年7月14日(金) 午前9時30分から11時45分まで	開催場所	八潮メセナ 会議室1・2
出席者 〔敬称略〕	(1号委員) 作山康、平石正美、山田あすか (2号委員) 上村義弘、大森真理子、小倉恵美子 (3号委員) 内田亜希子、金内美智留、近藤晶作、齋藤勝、昼間竹雄、 古庄正登、三ヶ島幸生		
欠席者 〔敬称略〕	(2号委員) 籠倉正美、前田由美子	傍聴者数	3人
審議内容 及び審議 結果の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 第1回審議会議事録内容の確認について ※事務局説明、内容について了承 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回(第1回)審議会のふりかえり ※事務局説明 (2) 議題 <ol style="list-style-type: none"> ①基本理念及び基本方針について ②導入機能について(複合化含む) ③新庁舎建設場所について ※①～③事務局説明、継続審議 ④ワークショップ実施内容について ※④事務局説明、予定どおり実施 5 その他 6 閉 会 		
提供資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・席次 ・第1回審議会議事録(案) ・資料1: 八潮市庁舎建設基本構想策定審議会資料 ・資料2: リーディングプロジェクトの基本的な考え方 ・八潮市地震ハザードマップ ・八潮市洪水ハザードマップ 		

【議事詳細】

第2回八潮市庁舎建設基本構想策定審議会

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 第1回審議会議事録内容の確認について

※事務局説明、内容について了承

4 議 事

(1) 前回（第1回）審議会のふりかえり

事務局	資料に基づき説明
委員	(質問等なし)

(2) 議題

①基本理念及び基本方針について

議長	基本理念および基本方針、導入機能について、前回の議論を踏まえ修正いただいた。ただし、これらについては、今後の市民ワークショップや市民アンケート等を踏まえて再確認いただく必要があるだろうと考えている。
事務局	資料に基づき説明
委員	前回の議論を踏まえ、八潮らしさを感じられる庁舎を加えていただいているが、この中にもう一点加えていただけないか、提案させていただきたい。それは八潮市のシンボルとなる庁舎というものである。現状、八潮市には観光資源が少ない。今回の事業を機に、観光資源となるシンボリックな庁舎の整備を検討しても良いのではないかと考えている。八潮市のシンボルとしては様々なものが考えられるが、「誰でも分かる」「話題性がある」「特徴がある」「簡単に変わらない・変えられない」ものが良いと考えている。建物の内部は模様替え等で変更できるが、外観はその後変更することは難しい。ぜひ、市のシンボルとなるような施設整備を進めていただきたい。
議長	貴重な意見をいただいた。事務局ではどうか。
事務局	貴重な意見をいただき感謝している。先ほど議長からも意見いただいたように、ワークショップやアンケート等をふまえ、引き続き基本方針等については検討していきたいと考えている。ただいまの委員の意見も貴重なご意見の一つとして賜りたい。
委員	今回の基本方針に含められている、八潮らしさ、という言葉では具体性に欠けるのではないかと。自分の身の回りに目を向けると、八潮に住んでいる方は八潮が好きで多く、八潮の学校を卒業し、八潮で家庭を持って、という人が多いように感じる。例えば、越谷市のように「愛着が感じられる」といったキーワードを入れてはどうか。住み続けたいようになるためには、愛着を持ってもらうことが必要である。ぜひ具体的なキーワードを含むよう検討いただきたい。
議長	事務局は、今後の議論やワークショップ、アンケートの結果を反映できるように現段階ではこのような記述にしていることと推しはかるが、いかがか。
事務局	議長の指摘どおりである。ただいまの委員の意見も貴重なご意見の一つとして賜りたい。
委員	災害時の拠点性が含められているが、昨今の情勢から非常に重要な点であると考えている。加えて、日常の中での拠点性という視点も含めてはどうか。資料にある越谷市のように、「市民に親しまれ、まちづくりの拠点になる庁舎」といったキーワードを掲げている自治体もある。この例のように、日常的にはまちづくりの拠点となり、万一の際には災害対応の拠点となるような庁舎が、安全・安心につながるのではないかと。

議長	<p>的確な意見をいただき、感謝している。災害時に住民がどう動けるかは、日常的なまちづくりの活動があるかで決まってくる。市庁舎が住民と離れているようでは防災の拠点とならない。ただいまの委員の意見を反映したものにしてはどうか。</p>
委員	<p>八潮市の公共施設の配置には、不適當な部分があると考えている。ここを生活の拠点にするのであれば、メセナが生涯楽習館の位置にあり、楽習館がメセナの位置にあるほうが適しているのではないか。この例のように、現在の市の公共施設の配置は、機能と配置が適當ではなく分散的になっている。</p> <p>庁舎の基本理念や方針を考える際には、市全体の公共施設の配置まで見直して考える必要がある。市民の目線に立ち、市民が生活しやすいような、公共施設の配置について検討すべきではないか。これまでの公共施設は、場当たりに整備されてきた側面があるものと理解している。市民の現在の生活に即した、公共施設の配置について検討すべきである。八潮らしさ、といった議論も重要であるが、今一度庁舎だけではなく、市全体を俯瞰的に捉えた議論も必要ではないか。</p> <p>また、一言に防災機能を持たせるといっても、限界があると思う。あまり多くの機能を一つの庁舎に求めることはいかがか。</p>
議長	<p>今の意見は、おそらく今回の議事が始まる以前から市が抱えている本質的な問題であると認識している。ただし、現在の行政の予算構造では解決することが難しい問題でもあると認識している。そういった背景から、市は優先順位を決め、解決していく必要があるものと認識している。この場で全てに回答することは難しいと思うが、検討に際しての優先順位等、事務局からご意見はあるか。</p>
事務局	<p>アセットマネジメントの観点から回答させていただく。八潮市は3村が合併してできたという背景がある。合併の際には、八幡村が中心となり推進していたようである。現在公共施設の多くは八幡地区に位置している。庁舎は市域の中心に位置しており、これは本市において初めて全体最適を意識した施設整備であったと認識している。しかしながら、その後の施設整備については、個別最適の考え方が主流であった。</p> <p>アセットマネジメントは、平成25年度から取組を始めている。長期的には八潮市においても人口の減少が予測されており、アセットマネジメントという考え方が必要になるものと考えている。例えば、八潮市の公共施設の半分を学校が占めており、学校の大規模改修の財源確保について議論になっているだけでなく、インフラの老朽化や新たな整備への対応の必要性がある等、限られた予算の中でどのように公共施設を維持管理、整備していくか、市民ニーズに応じていくかが課題であり、アセットマネジメントが必要となっている。</p> <p>ただいまの委員に指摘いただいた公共施設の配置については、アセットマネジメント基本計画の15ページから16ページに、これまでの個別最適の考え方を改め、全体最適の考え方を取り入れていくことを示している。15ページに示しているように、誰が、どのように、どの程度、利用するのか、客観的なデータをもとに議論を進めていく。また、16ページの図表では、施設種類ごとのサービス圏域に関する基本的考え方を示している。</p> <p>都市計画マスタープランの中では、都市核として駅前と市役所周辺のシビックセンターの2箇所を掲げている。駅前には民間事業者により開発が進んでいくが、シビックセンターに</p>

		<p>ついてはまだまだ価値向上の余地があると感じている。アセットマネジメントでは、単純な公共施設の削減ではなく、より市民の利便性の高くなる公共施設について検討を進めている。この考え方の下、単なる庁舎の再整備ではなく、シビックセンターの発展に資する庁舎整備を実施していきたいと考えている。そのためには、他自治体の事例等を踏まえつつ、様々な視点から検討する必要があるものと認識している。アセットマネジメントの取組では、俯瞰的な視点も持ちつつ、庁舎についての議論を進めていきたいと考えている。</p>
委員		<p>市役所が防災拠点であるという点については、みなさん異存がないものと考えている。また、都市核として2拠点を位置づけている中で、駅周辺は自然に開発が進むものと考えられるため、シビックセンターにおいては市役所を地域の発展に資する建物とすることについても違和感はない。前回の議事では、アンケートの案に市役所の利用回数についての設問も示されていたかと思うが、普段から市役所の利用回数が少ない方に、急に行政に参加するように言うのは難しいように感じる。普段から市民が来やすい施設が整備されたほうが良いのではないか。例えば、他市の老人福祉センターには、お風呂や広場があり、相当の人が集まる。そういった機能や、もしくは喫茶店等が整備されても良いと考えている。利用回数を増やし、愛着をもってもらうことが必要なのではないか。</p> <p>市役所の再整備にあたっては、機能を集約してほしいと考えている。八潮市は市域が狭いので、市役所にある程度の機能が集約していれば、市民の利便性が高いのではないか。建物の階数を増やして高層化すれば、機能の集約も可能なのではないか。また、経済的でもあるのではないか。</p>
議長		<p>市役所には住民が集まりやすい機能・工夫が必要である点を意見いただいた。庁舎は箱を作って終わりではなく、その後の取組も必要であると認識している。</p>
	事務局	<p>集まりやすい機能等については、次の議題にて用意させていただいているので、改めて説明させていただきたい。</p>
議長		<p>今後もアンケート等を踏まえ、まだまだ議論が必要な点であると認識している。今回の議事ではここまでとし、次の議題に移りたい。</p>

②導入機能について（複合化含む）

	事務局	資料に基づき説明
議長		<p>導入機能については、今説明があったように、庁舎として必要な部分と、アセットマネジメント等の考え方を背景とした、複合化する機能とがある。</p> <p>これらの点について、意見等あるか。</p>
委員		<p>現在市役所は 15,000 m²の土地となっており、容積率が 200%となっているため、30,000 m²が使える計算となる。機能の複合化を検討する際には、限られたスペースの中でそれが可能であるかどうかを、定量的に議論していく必要があるものと認識している。また、駐車場もイベントの際には不足しているものと理解している。市域は狭いかもしれないが、市民は移動の際には車を利用することが多い。市役所に機能を集約した際には駐車スペースが不足しないか。機能を集約させすぎると、道路の混雑等で周辺住民に迷惑をかける可能性もあり、慎重に議論する必要がある。</p>

議長	今意見をいただいたように、複合化する機能にはスペースの制約がある。また、イベント的機能を複合化すると駐車場の問題が起きることも考えられる。 事務局はこれらの点について、どのように考えているか。
事務局	現在庁舎は130台、メセナは84台、合わせて200台強の駐車スペースがある。また、現状メセナの収容人数は544人であり、興行的利用には難しいものである点も認識している。容積率の問題についても、現在の庁舎は付属の部分を含めて約8,700㎡となっており、メセナ約5,400㎡の面積を足しても要件的には十分スペースはあるものと考えているが、駐車場の課題等と併せて慎重に議論を進めたい。
議長	時間が限られているため、次の議題に移るものとする。

③新庁舎建設場所について

事務局	資料に基づき説明
議長	新庁舎の位置について、市としての意見、可能性と限界等を説明いただいた。 何か意見等あるか。
委員	都市計画の専門であるので、今回の議論は重要なものであると考えている。 私は現位置以外の選択肢はないものと考えている。 駅前が必要であるという意見もあるが、これは「まち」の状況による。長岡市では、駅前の中心市街地を活性化させるという戦略的な考え方が背景にある。歴史的な背景も大切で、八潮市の現庁舎は、合併した3村の中心であり、街道沿いということで発展してきており、地盤が良いところに立地している。ハザードマップを確認すると、駅前は防災拠点としての機能を果たせない可能性がある。 駅前は民間事業により発展していくものと考えられる。市役所は八潮市の人口規模からすると、集客施設である。集客施設を移動させると、現在の「まち」の構造を変えることになる。駅周辺が一人勝ちの「まち」となる可能性がある。集客施設を駅前に集約させすぎで、失敗している事例は数多くある。住民による市役所の利用回数が減ってきていることは事実だが、市役所の主な利用者は民間事業者である。民間事業者らが利用することで、周辺の飲食店が発展している等、これまでの経緯を重要視したほうが良い。 駅周辺では「モノ」を買い、市役所周辺ではイベントやサービス等の「コト」を買いなど都市核となる2極で役割分担もできるのではないかと。現状の敷地だけではなく、近くの公園も効果的に利用できる可能性等を考えると、シビックセンターゾーンという考え方は、非常に優れたものであると認識している。 また、前回の議論では、市街化調整区域への立地という案もあったかと思うが、民間事業者が我慢している中、市は勝手に開発していいのかという意見は必ず出る。人口が将来減少することを考えると、現在の市街化区域の中で考えることが適切であると考えている。
議長	専門的、論理的な意見をいただいた。
委員	新庁舎の整備には他の考え方も必要であると考えている。 八潮市では、市街化を図ってきたが、意図したように進んでこなかった経緯がある。本来であれば、市役所から駅をつなぐベルト地帯を開発してこなければならなかったと考えて

	<p>いる。これが上手くいかなかったために、現在市役所は市民の動線からはずれてしまっている。</p> <p>市役所周辺を活性化させるということはもっともだが、公共施設の再配置が不可能であるならば、市役所を中心に散在している公共施設をつなげる作業が必要である。市民の動線や活動を考慮しなければ、現在の位置で機能を集約したとしても、市民の利用が進まない可能性がある。</p> <p>市役所と駅をつなぐ場所について、さらに開発が進むよう、検討すべきではないか。市役所と駅をつなぐ場所に、市民に利用される施設を配置すべきではないか。</p>
議長	<p>庁舎の整備を超えた、さらに俯瞰的な意見であると認識している。今回この場で事務局から回答をいただくことは難しいと考えているので、次回、検討した回答をお願いしたい。時間が限られているので、次の議題へ移りたい。</p>

④ワークショップ実施内容について

事務局	資料に基づき説明
委員	<p>ワークショップの案内が PTA へ来ていたが、現在予定されている時間では参加しづらいとの声が上がっている。</p> <p>また、町会自治会からの参加者は高齢の方が多くものと予想されるが、若い方の参加を望むのであれば、幼稚園・小中学校等にも案内を出すことが適切ではないか。</p>
議長	事務局には、ご配慮いただきたい。
委員	ワークショップには市民が 100 人程度参加すると聞いているが、本審議会の委員も、参加すべきではないか。
議長	的確な指摘である。庁舎についての検討では、市民の声が必須であり、本審議会の委員も、市民からどのような声が出ているかを把握する必要がある。発言はできないとしても、参加することが可能なように、事務局には図っていただきたい。
委員	若い方からの参加も予定するのであれば、託児のスペースがあるとより良いと考えられるがいかがか。
議長	ぜひこれからの時代の流れもあるので、検討いただきたい。
委員	<p>町会自治会にもワークショップの案内が届いているが、簡易的な案内となっており、誰を参加させるのか迷っている。というのも、どの程度知識を持った人間が適当かわからないからである。</p> <p>当日は資料等を用意するのか。当日、初めて話を聞いた人からは、かなり発散的な意見が出るものと考えられる。</p>
事務局	<p>資料は現在作成中である。資料は当日の配布を予定している。</p> <p>内容は、全体的な市の課題等を説明し、それを踏まえて庁舎として必要なものについて議論いただき、グループごとに発表いただく形を想定している。予備知識がない方でも参加できるものとしたと考えている。</p>
委員	<p>実施にあたっての協力を依頼いただいたので、尽力する所存である。</p> <p>皆様から幅広い意見を承れる場にしたいと考えている。企画段階であるので、最終決定で</p>

	はないが、予定している当日の流れを説明したい。まずは、他自治体の事例を説明し、まちづくりや協働の場として庁舎に求められている機能が変わりつつあることを説明する。それに対する、感想をまずは出してもらおう。元々の知識に関係なく進められるものと考えている。そしてそれを踏まえて、八潮市で求められる庁舎の整備について、発散的に意見を出してもらおうことを予定している。それにより得られた意見を整理し、アンケート調査につなげていきたいと考えている。
議長	他にご意見等はあるか。
委員	人の流れや需要を作らなければならないという話が出ていた。また他自治体では、高齢者施設等の日常的な施設を整備することにより人の流れを作り出している事例もある。こういったことを踏まえて、複合化する機能については、幅広い検討が必要であると考えている。今回の資料に掲載されている2施設のみを複合化の対象とするのではなく、今後の議論の余地を残すために、整備する機能として、17 ページの表中、必要な機能の一番下「地元企業のPRなど」の後に、「その他」を記載したほうがよい。
議長	この点も含めて事務局には検討いただきたい。

5 その他

事務局	<p>次回の審議会は、従前のご案内のとおり、8月28日（月）9時30分からの開催とさせていただきます。場所は本庁舎3階の議会委員会室を予定している。</p> <p>さらにその次の第4回の審議会は、10月27日（金）14時からの開催とさせていただきます。場所は本日と同じ、メセナの会議室を予定している。</p> <p>また、市民ワークショップの際には、ぜひ皆様からの参加をいただきたいと考えている。</p> <p>なお、審議会の開催を当初の6回の予定から7回の予定に変更させていただきます。</p>
-----	--

6 閉会

(以上)